

平成22年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校2年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 「勉強が好きか」という質問に対し、9割以上の児童が好きと答えており、教科ごとの質問にもほとんどの教科において市の平均を上回っている。また、授業に対する取り組みや勉強に対する気持ちや態度、勉強の仕方についても、ほぼ市の平均を上回っている。特に、「授業の始まりには席に着く」「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加する」では、市の平均を大きく上回っており、高い学習意欲をもって生活していることが分かる。反面、「授業に必要なものを忘れずに持ってくる」の割合が低い傾向にある。連絡帳の確認を徹底すること及び家庭への協力呼びかけを継続していきたい。
- ・ 「学校で先生や友達にあいさつしているか」は、全員が「はい」と答えており、自分では、学校でよくあいさつをしていると感じているようであるが、声の大きさや相手よりも先にとという点では、もう一歩である。そのため、家の人や地域の人へのあいさつがやや低い傾向にある。自分から誰にでも自信をもって明るいあいさつができる児童の育成を目指し、今後も指導をしていきたい。
- ・ 読書時間やテレビを見る時間は、市の平均と同じ傾向にあるが、テレビやパソコンゲームする時間は、市の平均では、「ほとんどしない」が高い割合であるのに対し、「30分くらい」が高い割合となっている。平日は、1時間30分を越える児童はいないものの、休日は、3時間を越える児童もいる。健康面からも決まりを設けるよう、家庭にも呼びかける必要がある。
- ・ 学校がある日の就寝時間については、8割の児童が午後9時頃までに寝て、6時30分までに起きており、健康的な生活を送っているといえる。しかし、「朝、自分で起きることができるか」は、肯定割合が低い傾向にある。今後も継続して、早寝早起きの大切さを指導し、自立できるように家庭とも連携を図りたい。
- ・ 自分の携帯電話を持っている児童が1割強おり、「携帯電話を使うときのルールを家の人と決めているか」の肯定割合は、7割弱であった。一日に30分より短い時間ではあるが、使うときのルールについては全員が各家庭で話し合うことを勧めたい。
- ・ 朝ごはんについては、ほぼ全員が食べてきている。好き嫌いなく食べる児童も増えており、好ましい傾向にあるが、「運動が好き」や「休み時間や放課後、休日に運動を進んでするようにしている」の肯定割合が低い、遊びを運動と捉えなかった児童もいたと思われるが、パソコンやテレビゲームを好む傾向もあるので、体を動かす楽しい遊びを紹介するなど、児童に働きかける必要がある。